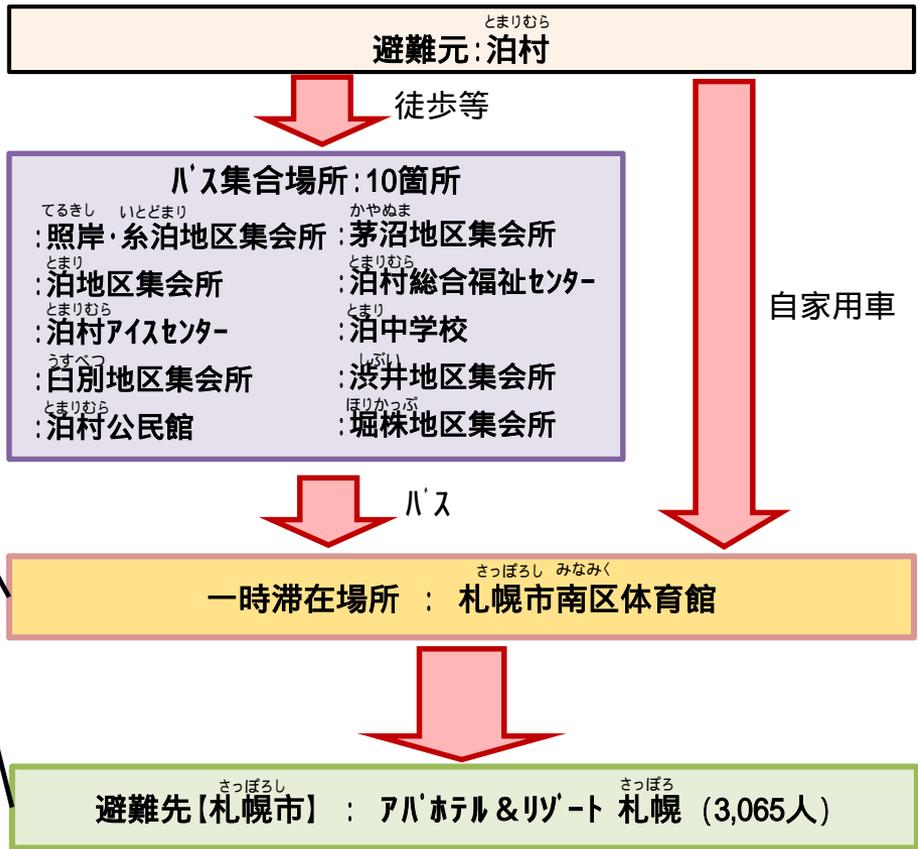
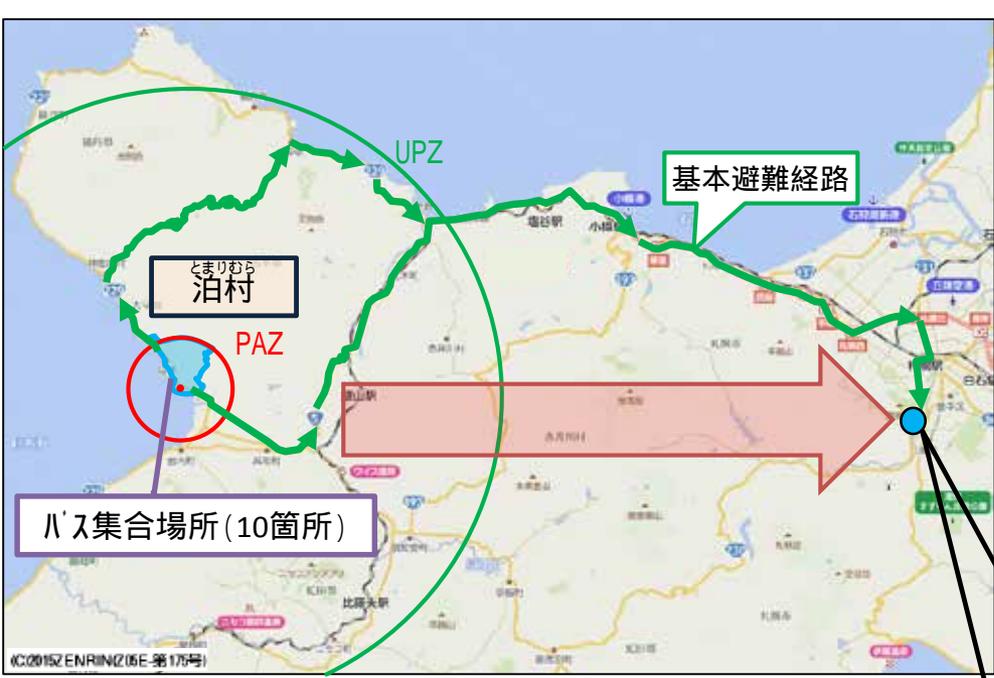


5 . PAZ内の全面緊急事態 における対応

<対応のポイント>

1. バス避難に必要となる輸送能力を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先の受入れ体制を整えること。
3. 安定剤素剤の服用等を指示し、避難を開始すること。

- 泊村におけるPAZ内の住民については、自家用車で避難する住民は、自家用車により札幌市の一時滞在場所(札幌市南区体育館)を經由し、避難先(アパホテル&リゾート 札幌)に避難。
- バスにより避難する住民は、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスで一時滞在場所を經由し、避難先に避難。

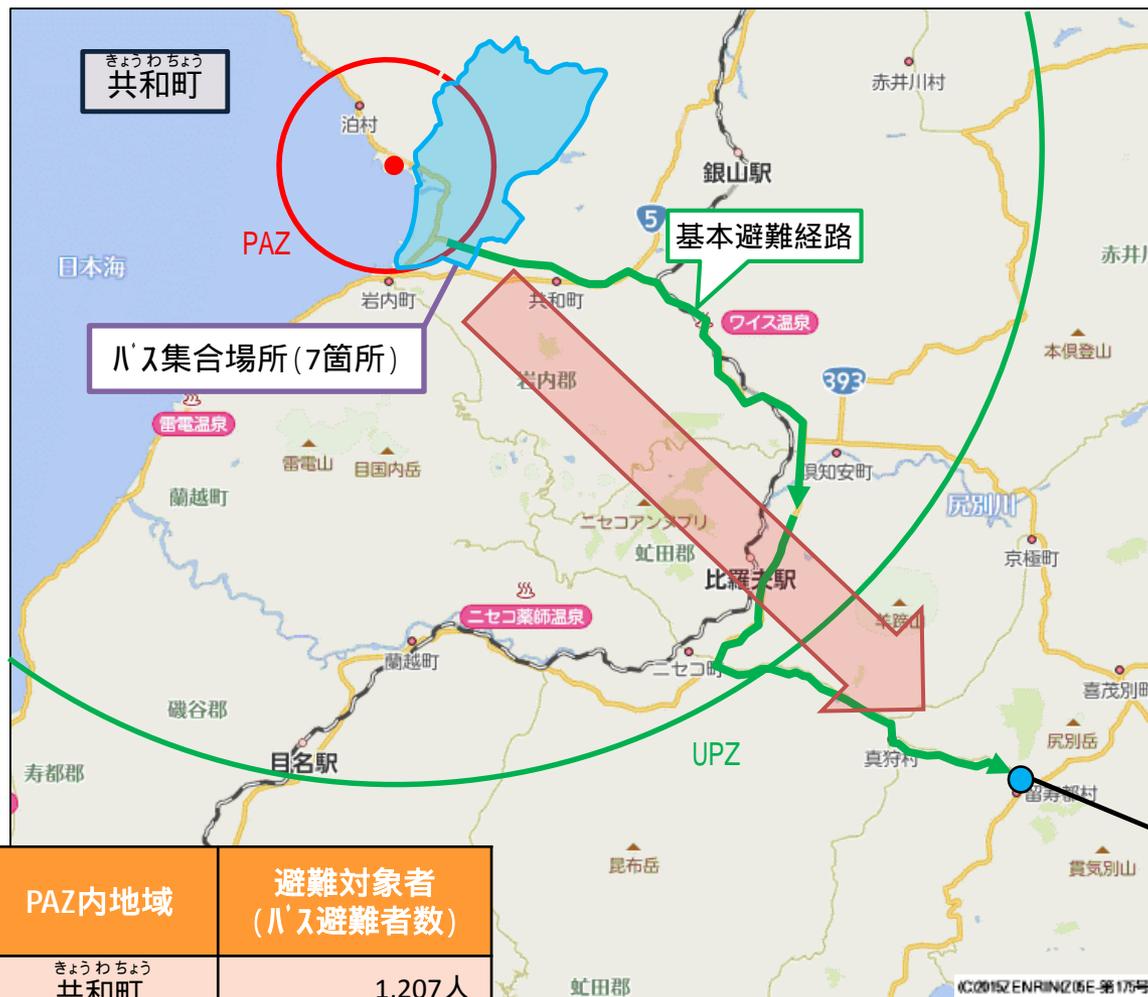


PAZ内地域	避難対象者	バス避難者数	自家用車避難者数
泊村	1,091人	449人	642人

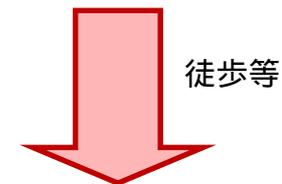
1 避難先については、啓発資料を全戸配布するとともに、訓練を通じて住民に周知
 2 避難対象者数は、PAZ内住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民を引いた数字である

()は収容可能人数

共和町におけるPAZ内の住民については、徒歩等で各バス集合場所に集合し、バスにより留寿都村の避難先(ルスツリゾート)に避難。

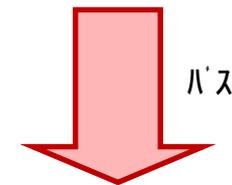


避難元: 共和町



バス集合場所: 7箇所

- 北電体育館
- 宮丘地区寿の家
- 北辰小学校
- 発足コミュニティセンター
- 発足克雪管理センター
- はまなす幼児センター
- ビシャムナイ会館



避難先(兼一時滞在場所)【留寿都村】
: ルスツリゾート(4,488人)

() は収容可能人数

PAZ内地域	避難対象者 (バス避難者数)
共和町	1,207人

- 避難先については、啓発資料を全戸配布するとともに、訓練を通じて住民に周知
- 避難対象者数は、PAZ内住民の合計数から施設敷地緊急事態で避難する住民を引いた数字である

- とまりむら ○ 泊村において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約450人分：バス16台であり、北海道は「原子力災害時における住民避難用バス要請・運行要領」に基づき、北海道バス協会に住民避難用バスを要請。
- 北海道バス協会は、同要領に基づく北海道からの要請を踏まえ、住民避難用バスを調整・確保するとともに、更に余裕を持った台数を確保。

とまりむら < 泊村において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	449人	16台	バス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P50】

とまりむら 数字は現段階で泊村が把握している暫定値

とまりむら < 泊村における全面緊急事態での輸送能力の確保 >

		確保車両台数		備考
		バス		
(A) 必要車両台数		16台		
(B) 確保車両台数		計16台以上		
確保先	北海道バス協会	16台以上		しりべし PAZ・UPZ町村が所在する後志地域のバス会社が保有する車両総数1,238台

不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

- 共和町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、約1,210人分：バス35台であり、北海道は「原子力災害時における住民避難用バス要請・運行要領」に基づき、北海道バス協会に住民避難用バスを要請。
- 北海道バス協会は、同要領に基づく北海道からの要請を踏まえ、住民避難用バスを調整・確保するとともに、更に余裕を持った台数を確保。

きょうわちょう
< 共和町において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数	必要車両台数	備考
バスにより避難する住民	1,207人	35台	バス集合場所にて乗車 1台あたり40人の乗車を想定 【資料P51】

数字は現段階で共和町が把握している暫定値

きょうわちょう
< 共和町における全面緊急事態での輸送能力の確保 >

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		35台	
(B) 確保車両台数		計35台以上	
確保先	北海道バス協会	35台以上	PAZ・UPZ町村が所在する後志地域のバス会社が保有する車両総数1,238台

不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

泊村におけるバス避難の住民の数

- 泊村による全戸訪問調査の結果、PAZ内のバスにより避難する住民は合計約450人。
- 泊村では、10箇所のバス集合場所を設置し、バスにより避難する住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



バス集合場所	バス必要台数
照岸・糸泊地区集会所	106人 3台
泊地区集会所	36人 1台
泊村アイスセンター	15人 1台
白別地区集会所	31人 1台
泊村公民館	47人 2台
茅沼地区集会所	55人 2台
泊村総合福祉センター	55人 2台
泊中学校	39人 1台
渋井地区集会所	7人 1台
堀株地区集会所	58人 2台
合計:10箇所	449人 16台

数字は現段階で泊村が把握している暫定値

共和町におけるバス避難の住民の数

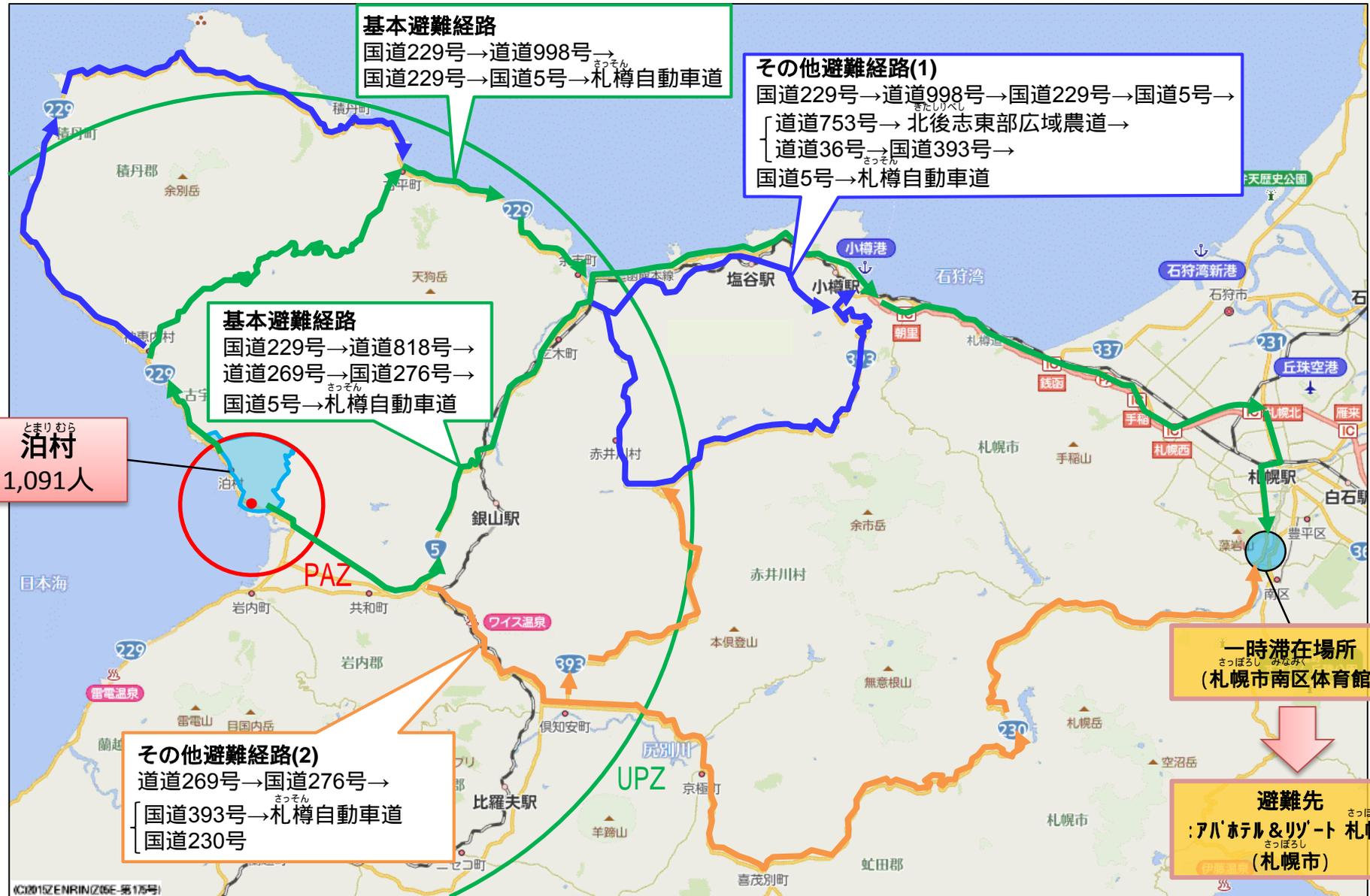
- 共和町におけるPAZ内のバス避難の住民数は合計約1,210人。
- 共和町では、7箇所のバス集合場所を設置し、住民は、あらかじめ指定されたバス集合場所に集合。



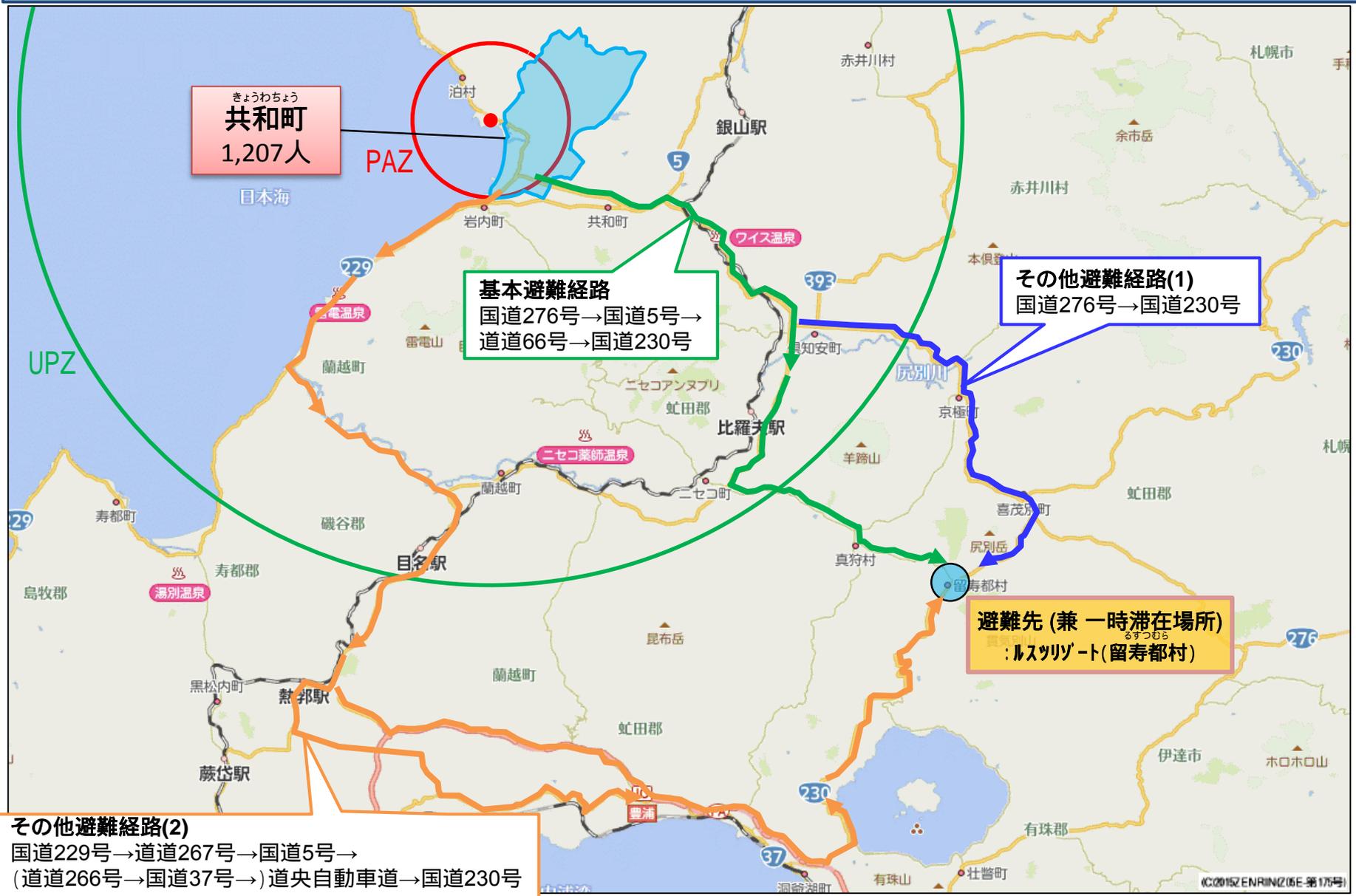
バス集合場所		バス必要台数
北電体育館	523人	14台
北辰小学校	15人	1台
発足克雪管理センター	132人	4台
ビシャムナイ会館	53人	2台
宮丘地区寿の家	67人	2台
発足コミュニティセンター	135人	4台
はまなす幼児センター	282人	8台
合計:7箇所	1,207人	35台

数字は現段階で共和町が把握している暫定値

○ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



○ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、基本避難経路及びその他避難経路を設定。



避難を円滑に行うための対応策

○ PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、ヘリからの映像伝送により道路渋滞を把握し、北海道、泊村、共和町及び北海道警察による避難車両の誘導や、主要交差点等における交通整理・誘導・規制、「交通情報板」等を活用した広報等の交通対策を行う。

泊地域における交通対策

○ 交通誘導対策

主要交差点等における北海道・町村職員や北海道警察職員等の交通整理により、円滑な避難誘導を実施

○ 交通広報対策

道路管理者が管理する「道路情報板」及び北海道警察が管理する「交通情報板」を活用した広報

日本道路交通情報センター（JARTIC）が行うラジオ放送、交通情報提供システム（AMIS）を利用したカーナビへの情報提供による広報等

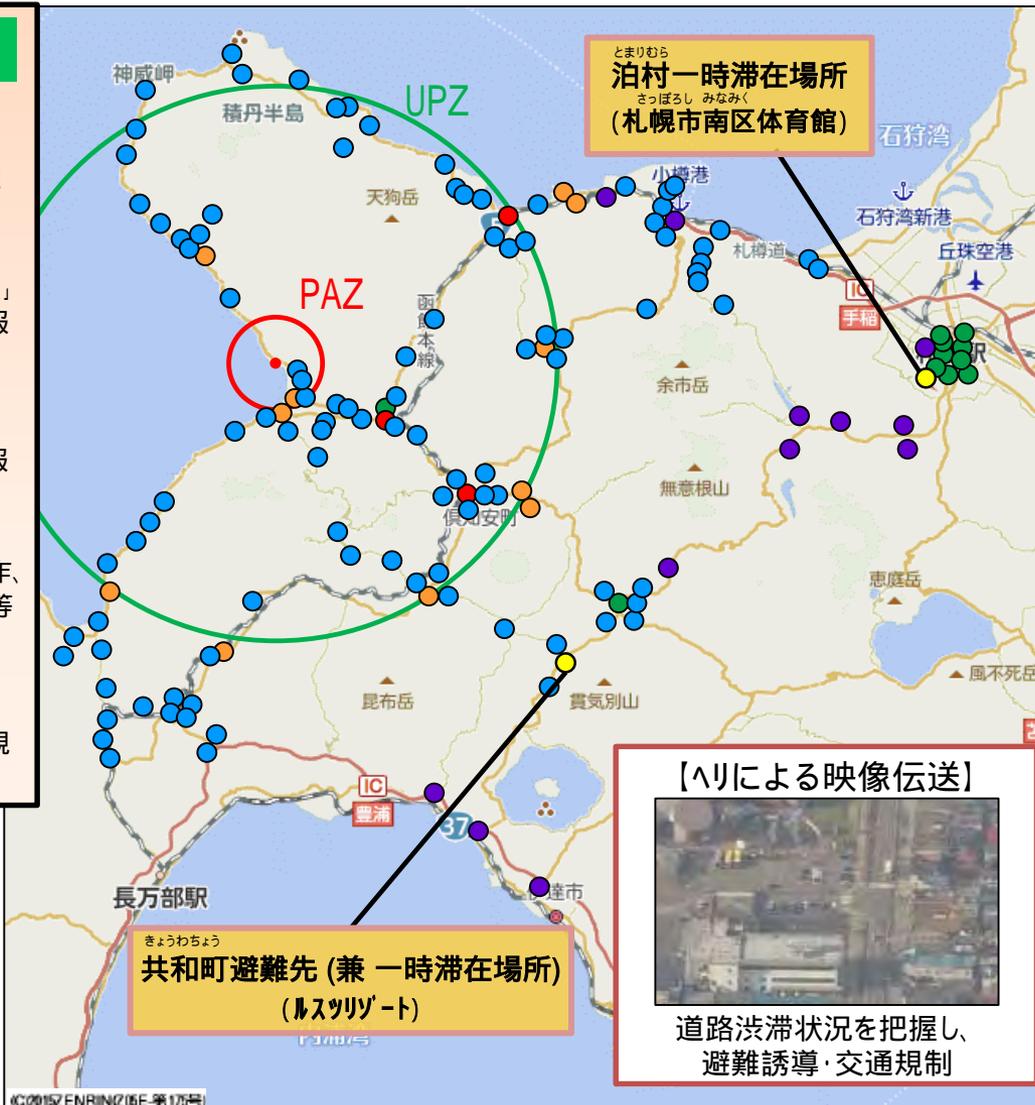
○ 交通規制対策

混雑発生交差点における信号機操作、混雑エリアでの交通整理・誘導・規制等による円滑な交通流の確保

信号機の滅灯等動作不能の事態が発生した場合は、自家発電機等による応急復旧、警察官等による現場交通規制により対応

【凡例】

- : 自家発電機能付信号機
- : 交通整理地点
- : 交通規制地点
- : 交通情報板
- : 道路情報板



泊村一時滞在場所
(札幌市南区体育館)

共和町避難先 (兼 一時滞在場所)
(ルスツリゾート)

【自家発電機能付信号機】



避難経路に11箇所設置

【交通情報板】



避難経路に19箇所

【ヘリによる映像伝送】



道路渋滞状況を把握し、
避難誘導・交通規制

【道路情報板】



避難経路等に99箇所設置

避難を円滑に行うための対応策

- 泊村では自家用車避難を円滑に行うため、対象となる住民に「避難車両シール」を配布。
- 泊村及び共和町では、速やかにバス集合場所を開設できるようにあらかじめバス集合場所内のレイアウト図等を作成。また、住民の避難誘導を円滑に行うため、バス集合場所の開設時にレイアウト図等を掲示。さらに、町村職員によるバス集合場所等での住民の受付等を円滑に行うため、各地区の町内会長等と連携し地区毎に住民の避難状況等を取りまとめるなど、地域コミュニティを活用した避難誘導を実施。
- 北海道、泊村及び共和町では、発電所で緊急事態が発生した場合における住民が取るべき行動、避難時における住民相互の声かけの実施、避難先等の情報を掲載した「北海道原子力防災カレンダー」や「原子力防災のしおり」等の啓発資料を作成し、町村内の全戸に配布するなど、避難を円滑に行うための普及啓発を継続的に実施。



避難車両シール



バス集合場所内のレイアウト図

避難先	避難場所	避難先	避難場所
避難先(1) 泊村	泊村公民館	避難先(2) 共和町	共和町公民館
避難先(2) 泊村	泊村公民館	避難先(3) 共和町	共和町公民館
避難先(3) 泊村	泊村公民館	避難先(4) 共和町	共和町公民館
避難先(4) 泊村	泊村公民館	避難先(5) 共和町	共和町公民館
避難先(5) 泊村	泊村公民館	避難先(6) 共和町	共和町公民館
避難先(6) 泊村	泊村公民館	避難先(7) 共和町	共和町公民館
避難先(7) 泊村	泊村公民館	避難先(8) 共和町	共和町公民館
避難先(8) 泊村	泊村公民館	避難先(9) 共和町	共和町公民館
避難先(9) 泊村	泊村公民館	避難先(10) 共和町	共和町公民館

北海道原子力防災カレンダー
〔住民が取るべき行動や
バス集合場所などを記載〕

原子力防災のしおり
(バス集合場所の地図等を記載)